

## 12 パワフルけいこさん（高齢者）

（ナレーター）皆さん、いかがお過ごしですか。福岡市がお送りする「こころのオルゴール」の時間です。今日は私、副島淳がお届けします。タイトルは「パワフルけいこさん」です。

71歳のパワフルけいこさんは、福岡よしもとのお笑い芸人です。66歳で養成所に入り、67歳でデビューしました。現在「ごまサバ」というコンビ名で、48歳の「ゴウイチ。」さんと共に活動しています。2人は年齢と経験を強みにしたネタで楽しい掛け合いをして、多くの人に笑いを届けています。

お笑い芸人を目指したのは、難病を患う娘を笑顔にしたいという思いからでした。娘を支えているうちに、「一瞬一瞬を大事に生きる」という考えに至ったのも理由の一つです。どんな状況でも「自分の人生だから、やりたいことはやる」と決意しました。

【けいこさん役】養成所では20歳前後の同期と一緒に学び、年の離れた若者たちが、真剣にお笑いに取り組む姿にとっても刺激を受けました。今でも、同じ若手芸人として分け隔てなく接してくれるのがうれしいですね。

25 (ナレーター) 養成所の同期や周りの人たちも、人一倍熱心なけいこさんから、いくつになっても挑戦できる素晴らしいさを教わったと言います。

30 ある同期の人は「どんなときも明るくて、毎日コツコツとネタを考えているけいこさんの姿を見ると、若い自分ももつと頑張ろうと前向きな気持ちになれるんですよ」と話します。

35 【けいこさん役】笑うことって本当にすごいですよ。心が救われたり、気持ち明るくなったり、前向きになれたり。娘も客席でいつも笑っています。人を幸せにして誰かの役に立っている、お笑いの仕事は私の使命なんじゃないかな。

40 (ナレーター) ステージを見に来ってくれる家族や友達からの応援や、お客さんからの「面白かった」という声が、けいこさんのパワーの源です。劇場に足を運びにくい高齢者のために、施設などを訪問したいという目標もあります。

45 【けいこさん役】年を重ねて、いろいろなガタが来るのは当たり前。できなくなったことを数えるより、「まだこんなことができるぞ!」と、自分に残っているものを見つけて喜ぶことが大切だし、そのほうが元氣になれるでしょう? 人生は楽しんだもの勝ち。自分で責任を取れるなら、何歳でもどんな夢を持っても、何をしてもいいとよ!

（ナレーター）これからも、けいこさんは我<sup>わ</sup>が道<sup>みち</sup>をパワフルに突<sup>つ</sup>き進<sup>すす</sup>んでいきます。

（本文 928 字）